

みんなの 広場



※上の点字は、題字と同じ内容を表したものです。



主な内容

- 田んぼアートの田植えの様子…………… 1
- THE 私たちの施設 PR……………2、3
- アート×パフォーマンス……………4、5
- 自然とともに 地域とともに……………6、7
- 福祉機器等導入に向けた取組…………… 8
- 令和3年度業務改善活動入賞施設
- 令和3年度職員提案制度入賞者



ひこうせん利用者もお手伝いした、岩手町の田んぼアートが今年もお披露目になりました。ここ数年、地域と交流する機会が減っていましたが、今年度は地区住民の皆さまと力を合わせて作品を仕上げました。季節は秋になり、その色鮮やかな出来栄えに大満足でした。

好地荘

好地荘 創立60周年 記念イベント

好地荘は、令和4年6月25日に創立60周年を迎えました。

10年に一度の節目ということから実行委員会を立ち上げ、利用者の「お祝いたい」という意見も反映しながら企画しました。記念行事では、利用者のキー

ボード演奏に合わせてみんなで好地荘の歌「のぞみ」を合唱したほか、職員有志が伝統の和太鼓で「365歩のマーチ」を事



利用者手作りのお祝い飾り



職員の和太鼓披露



前収録した映像を上映。また、50周年から10年間の軌跡をまとめたビデオや、転動した職員からのビデオメッセージも上映しました。

さらに栄養士の手作りお祝い膳弁当もあり、利用者は大喜びでした。

利用者と職員とがひとつになりお祝いすることができました。

松山荘

生活介護事業所「そら」・ 共同生活事業所「ちふな」事務所の 新築移転

利用者の増加に伴い手狭となった生活介護事業所「そら」、浸水区域にあった共同生活事業所「ちふな」事務所の移転について検討を重ねてきましたが、この度、共同生活事業所「ちふな」のグループホーム貸主様のご協力により、宮古市山口地区に、両施設機能を備えた物件を新築



新築された事業所
宮古市中心部にあり利便が良い



広くなった生活介護事業所の活動スペース

していただくことができました。一階部分を生活介護事業所とし、以前と比べてゆったりとした空間になりました。また浴室も設置し、グループホームや家庭での入浴に支援が必要な利用者にも対応できるようになりました。

共同生活事業所「ちふな」と生活介護事業所「そら」を併用している利用者も多く、これまで以上に連携し利用者支援にあたることができそうです。

THE 私たちの
記念イベントや
事業所の新設、
新しい取組について
お知らせします。
施設PR

てしろもりの丘 よつば・あおば

てしろもりの丘 プロモーション ムービー!

てしろもりの丘では、より多くの皆さまに福祉の仕事に興味を持ってほしい、楽しさを伝えたい、という願いから、「プロモーションムービー」を制作しました。



ムービーのワンシーン、
いい笑顔です!

てしろもりの丘の職員が参加し、活動の様子や、支援において大切にしていることを伝えることで、福祉の仕事の面白さや、やりがいを知ってもらい、イメージアップに繋げるため、工夫を凝らして撮影を行いました。出演した職員は、慣れない動画撮影に最初は緊張の表情も見られましたが、「笑顔を大事に！」を合言葉に、職員同士、息の合った良い動画が出来上がりました。少しでも多くの方に見ていただければと思います。

なお、ムービーは現在、公開に向けて鋭意準備中です。公開準備が整いましたら、改めてお知らせさせていただきます。



みんなで撮影した動画、
ぜひご覧ください!

松風園

新設グループ ホーム兼 事業所について

共同生活事業所「じゃんぶ」では、7月に男性ホームを新設しました。浸水想定区域にあった石鳥谷町内2か所のホームを



新ホームの外観



快適な環境で支援にも力が入ります

集約し、利用者7人の新生活が始まりました。

また、グループホームの2階には事務所も併設され職員も心機一転、支援に力が入る環境が整いました。

新しいホームは、各居室にエアコン完備で、快適な環境です。引越しを手伝ってくださった保護者様からも、満足だという声が聞かれ職員も一安心。遠慮がちな利用者さん同士も、今ではずっと前から知り合いだったように打ち解けて、楽しく生活を送っています。

とれいんの音楽活動



音を聴く。歌う。演奏する。音楽は様々な楽しみ方があります。「とれいん」では、『音を楽しむ』活動を月に3回ほど実施しています。

段ボール太鼓などの手作り楽器でリズム打ち、ミュージックベルで色と音を使った演奏、音を聴いて楽器を当てるクイズなど様々な活動がありますが、現在は「合奏」に挑戦しています。

ベルの主旋律に手作りのリズム楽器を合わせていきます。初めは、活動の理解や演奏の難しさを感じましたが、次第に方法やルールが身に付



主旋律のミュージックベルで合奏をリードします♪

いています。バラバラに聞こえていた一音一音が一つの曲になっていき、利用者も職員も感覚が研ぎ澄まされていくのがわかり、音を楽しんでいる実感が湧く何とも言えない瞬間があります。

一つのを皆で作り上げていく一体感、達成感もこの活動の醍醐味です。次はどんな音を奏で、音と遊ぼうか…



好きな曲ではリズム打ちも全集中!!



「正解!お見事!!!」
~楽器当てクイズ~

アート × パフォーマンス

一作って 鳴らして 感じて
色とりどりの表現

やさわの作家紹介



余暇時には担当職員と一緒に書道に取り組みます



第29回岩手県障がい者文化芸術祭に出展した作品です

やさわの園では、日中活動で行う創作活動以外に利用者さん個人の作品作りにも力を入れています。今回はやさわの書道家「細川良子」さんと、紙ちぎりアーティストの「一ノ渡由子」さんについてご紹介します。



細川良子さんは、日中活動や余暇の時間を利用して書道に取り組んでいます。3年前の書初めでの素晴らしい筆運びを担当職員が目にし、書道に取り組むようになったそうです。その時の心のままに筆を動かし、作品を書き上げる良子さん。消しゴムはんこで落款も作り、作品展にも出品しています。

一ノ渡由子さんは車が好きで、車のカタログを小さくちぎり紙に貼る作業を通して作品作りを行っています。3年前のきららアート・コレクションでは「くるまでくるま」という作品で奨励賞を受賞しました。



「アトリエ」という活動での作品作りの様子です

かだあるととのコラボ

令和3年度、岩手県障がい者芸術活動支援センターかだあると主催の「障がいのある人の創作活動支援のワークショップアドバイス」を実施する運びとなり、講習会等の準備期間を経て、ワークショップを実践しました。

利用者、職員共に初めての体験であり、期待感と不安とが交わる中、「何を作るのか」ではなく「どんなものが出来上がるか」、利用者の発想を形にしながら楽しく行うことができました。

その後も講師から頂いたアドバイスを活かし、案山子、看板作りの造形作品を作成する等、松風園

の活動を展開することができました。

これからも利用者の思いや自由な発想を形にしながら、アート活動を楽しんでいきたいと思っています。



みんなで一緒に創作活動。心が躍るくらい楽しい!!



職員も初めての活動にドキドキしながら行いました

創作活動について

こぶしでは、毎月利用者の皆さんとテーマを決めて壁面装飾を制作しています。今回は折り紙を用いた切り絵などに模様を描いてもらい、画用紙に貼って紫陽花や向日葵等の作品を作りました。



駅入り口付近の掲示の様子

皆さんが一生懸命作った作品は食堂に掲示し、食事の際にも楽しめるようにしています。また、作品により食堂の雰囲気はより明るく、季節感あるものになっています。さらに、作品の一部を IGR 奥中山高原駅の誰もが目に留まる場所に掲示させていただきます。「今度も駅に飾るの?」と皆さんもワクワクしながら、作品制作に積極的に取り組んでいます。



駅に掲示されている作品の見学

初夏の風を感じて ～チャグチャグ馬コ～

◆療育センター

6月6日、3年ぶりに「チャグチャグ馬コ」が来訪しました。綺麗に着飾った馬に笑顔がいっぱいの子、初めての馬に驚きじっと見入る子、泣き顔になる子。初夏の風とともに、みんなの色んな表情を運んできたチャグチャグ馬コでした。



わーい!馬だ☆

かたくりファームの取組み

◆かたくり

かたくりの庭にある畑、その名も「かたくりファーム」。多くの利用者さんが苗を植えたり、水やりや収穫をしたりと畑作業を楽しまれています。職員も利用者さんと一緒に活動のサポートをしています。

畑にかたくりファームの看板を立て、記念撮影をしました



大きく育てねと、水やりを頑張っています



朝早く起きてきゅうりの収穫をしました



自然とともに 地域とともに

～地域の恵みに 感謝をこめて～

マリーゴールドが元気に咲きました



中山の園の顔として

◆中山の園総務部

中山管理棟前には花壇があり、そこには毎年お客様を迎える顔として花が植えられます。花苗は同じ地域にある特別支援学校の三愛学舎さんから購入したものを植えており、中山を訪れる人達をやさしく迎えてくれます。



職員総出で植えました

名称募集には、400種を超えるアイデアが!



ひみつの森に新しい遊具が登場!

◆いわて子どもの森

「いわての森林づくり基金」を活用し、今春ひみつの森に6種類の木製遊具が登場しました。遊具の名前は来館者のアイデアをもとに決定し、親しみやすいものに。屋外遊び場の新たな目玉として、今日も子どもたちのにぎやかな声があふれています。

あっという間にベルまで到達♪



のぼりタワー



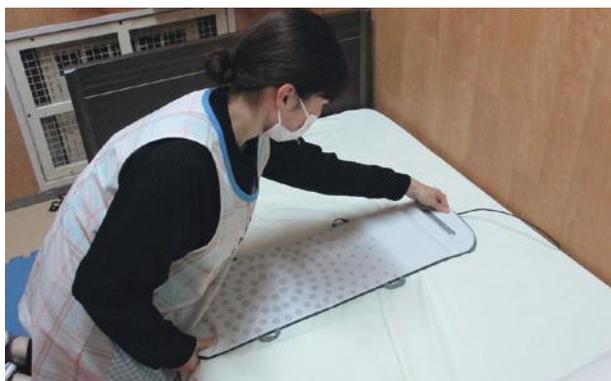
ゆらゆらブリッジ

ICT・福祉機器等の導入に向けた取組について

今般の急速な少子高齢化により、今後も人材不足が予想されています。そのため、職員の業務負担軽減を図るべく、経営改善検討委員会に福祉機器等導入検討WG（ワーキング）を立ち上げました。業務効率化を目的として、「利用者支援チーム」と「事務処理チーム」に分かれ、福祉機器等の導入について検討を行っています。

中でも「利用者支援チーム」では、すでに福祉機器を導入している施設を中心に、機器の使用してみた感想や効果の報告、今後検証したい機器の選定等を取り組んでいます。

今後も利用者支援、事務処理業務の二面から、福祉機器等の導入による有効性について検証していきます。



りんどうで導入している「眠リスキャン」



利用者の睡眠状況について分析を行います

令和3年度業務改善活動入賞施設

入賞区分	入賞者	テーマ
最優秀賞	いわて子どもの森	実効性のある防災体制の確立 ～いざという時、あせらず・まよわず行動するために～
優秀賞	たばしね学園あさひ通り	寮棟内の生活ルールブックの作成 ～みんなで作る、みんなのための寮棟ルール～
	療育センター育成部「かがやき」	小学生と楽しく交流しよう ～非接触で外部の方と交流できる効果的な手段を探る～
優良賞	こぶし	個性を大切にしたい支援を目指して ～A子さんの事例から考える利用者支援～
	療育センター看護部外来	外来受診者・家族への当日スケジュールの案内
奨励賞	視聴覚障がい者情報センター	情報保障 ～遠隔通訳を始めよう～
	和光学園 赤穂と愉快的な仲間たち	Wako ライフ バランス ～Ako インシデント集計シートを活用して～

令和3年度職員提案制度入賞者

入賞区分	入賞者	テーマ
金賞	前澤 義弘 (つつじ)	髭剃り機の充電作業の時間を簡素化し火災リスクを軽減する
銀賞	伊藤 ひかり (中山の園総務部)	契約事務を速く、かつ、正確に！
銅賞	熊谷 美鈴 (かたくり)	個人情報 USB 持ち歩き時の専用ケース使用
	佐藤 星河 (いわて子どもの森)	来館者のお誕生日をお祝いする記念品プレゼントの実施
	吉田 貴博 (視聴覚障がい者情報センター)	貸出用パソコンのチェック表と設定方法のマニュアル作成